

結ばれていなかった島嶼の大部分を結合し、その成果により海図の修正を行なった。今、世界は200海里的時代を迎え、これら離島の位置は200海里水域の画定の起点として重要な役割を担っている。

2~3年前、各国の200海里宣言が相次ぐ中で、遠洋漁業の漁船は1千万円もするような NNSS の受信装置を先を争って買い求めたため一時在庫がなくなり、順番待ちをするというような時期があった。これは NNSS の有用さが認められたこともさることながら、政治的背景から必要に迫られたという点も否めない。海洋においても、正確な海図と精密な測位が必要な時代となったのである。

こと陸上での利用に関しては、近年電子回路の発展に応じてポータブルな受信装置が次々と開発され、処理プ

ログラムの改良と相まって測位精度が向上し、ますます利用者の増大を招いている。天文学の分野に関しては、水沢緯度観測所を含む DPMS の組織が NNSS を利用して極運動の観測を行なっていることは御存知のとおりである。

水路部では NNSS を始め、測地衛星のレーザー測距、写真観測などの衛星測地学の手法を動員し、測定の精度をさらに上げて本土と離島を結ぶ海洋測地網を構築する計画を持っている。NNSS はポータブルかつ自動化という面において VLBI やレーザー測距などの機器より扱いやすいため、無人島などにおいては偉力を発揮するだろう。NNSS の精度向上とそれに続く GPS への期待は、海事関係者のみならず、測地学、位置天文学の分野にとっても大きい。

学会だより II

日本天文学会昭和54年度秋季年会記事

昭和54年度秋季年会は岡山県浅口郡鴨方町の鴨方町民会館の大ホールに於て10月16日(火)~19日(金)の4日間にわたって開催された。講演数145、出席者約280名、各セッションの座長は次の方々をお願いした。

- 16日午前 堀源一郎、古在由秀(講演数16)
午後 坪川家恒、高倉達雄(" 25)
17日午前 柿沼清隆、赤羽賢二(" 18)
午後 甲斐敬造、山下泰正(" 26)
18日午前 小平桂一、海野和三郎(" 17)
午後 高瀬文志郎、会津晃(" 27)
19日午前 奥田治之、高窪啓弥(" 16)

会期中の16日の昼に内地留学奨学金選考委員会、17日夜に懇親会、18日の昼に理事会が開かれた。また19日の午後、台風20号通過直後の晴天下にエクスカージョンとして岡山天体物理観測所の見学会が開かれ参加者約30名であった。

内地留学奨学金

年会中に開かれた内地留学奨学金選考委員会において申請のあった3名の候補者について選考を行った結果、次のように決定した。

- ◎浦田 武(富士観光、日本平富士観光センター勤務)
研究題目:「小惑星の同定検索と軌道の研究」
留 学 先: 東京天文台天体掃索部
奨 学 金: 18万円

日本天文学会評議員候補者選挙に関する公示

選挙管理委員会は、1980年の総会に推薦される改選組(任期1980年~1984年)評議員候補者の選挙について、定款第19条及び評議員選挙施行細則(1970年5月制定、以下細則という。)の規定に基づき、下記の通り公示する。

記

1. 選挙権及び被選挙権を有する者は、この公示の時点における特別会員である。ただし、被選挙権については現に非改選組評議員であるものを除く。(細則第3条による。)
2. 上記有権者には、有権者名簿及び投票用紙を別に発送する。(細則第4条による。)
3. 投票は、10名以内の無記名連記とする。(細則第5条による。)
4. 投票期間は、1980年1月20日から同年2月18日必着までとする。
5. 選出された候補者の名簿は、1980年4月20日発行の天文月報(1980年5月号)にこれを発表する。(細則第7条による。)
6. 投票の詳細に関しては、上記2.の投票用紙の発送に際して、これを通知する。

以 上

1979年11月20日

選挙管理委員会

注意: 公示の時点における特別会員の名簿を有権者に近日中に発送します。この名簿に異議・誤記があれば1979年12月15日(必着)までにお知らせ下さい。なお、投票用紙等の発送は1979年11月20日現在の会員原簿の住所欄によりますから、その後、変更等のある方は必ず同日までにお知らせ下さい。